

平成 30 年度サービス第三者評価結果（公益社団法人 全国有料老人ホーム協会）

法人名	社会福祉法人 聖隷福祉事業団	ホーム名	介護付有料老人ホーム 油壺エデンの園	ID	3025
	評価機関	株式会社ケアシステムズ		評価日	2019/2/12

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	A	A	2.3.3	A	A	6.1.2	A	A
1.1.2	A	A	2.3.4	A	A	6.1.3	A	A
1.1.3	A	A	2.3.5	A	A	6.2.1	A	A
1.1.4	A	A	2.3.6	A	A	6.2.2	A	A
1.2.1	A	A	2.3.7	A	A	6.2.3	A	A
1.2.2	A	A	2.3.8	A	A	6.2.4	非該当	非該当
1.2.3	A	A	2.3.9	A	A	6.2.5	A	A
1.3.1	A	A	2.3.10	A	A	6.2.6	A	A
1.3.2	A	A	2.3.11	A	A	6.2.7	A	A
1.3.3	A	A	2.4.1	A	A	6.2.8	B	A
1.4.1	A	A	2.4.2	A	A	6.2.9	A	A
1.4.2	A	A	2.4.3	A	A	6.3.1	A	A
1.4.3	A	A	2.4.4	A	A	6.3.2	A	A
1.4.4	A	A	2.4.5	A	A	6.3.3	A	A
1.4.5	A	A	2.4.6	A	A	7.1.1	A	A
1.4.6	A	A	3.1.1	B	B	7.1.2	A	A
1.4.7	A	A	3.1.2	A	A	7.2.1	A	A
1.4.8	A	A	3.1.3	B	A	7.3.1	A	A
1.5.1	A	A	3.1.4	A	A	7.3.2	A	A
1.5.2	A	A	3.1.5	非該当	非該当	7.3.3	A	A
1.5.3	A	A	3.1.6	A	A	7.3.4	A	A
2.1.1	A	A	3.1.7	A	A	7.4.1	A	A
2.1.2	A	A	4.1.1	A	A	7.4.2	A	A
2.2.1	A	A	4.1.2	A	非該当	7.4.3	A	A
2.2.2	A	A	4.1.3	A	A	7.4.4	A	B
2.2.3	A	A	4.1.4	A	A	7.4.5	A	A
2.2.4	A	A	4.2.1	A	A	7.5.1	A	A
2.2.5	A	A	4.2.2	A	A	7.5.2	A	A
2.2.6	A	A	5.1.1	A	A	7.5.3	A	A
2.2.7	A	A	5.1.2	A	A	7.5.4	A	A
2.2.8	A	A	5.2.1	A	A	7.5.5	A	A
2.2.9	A	A	5.2.2	A	A	7.5.6	A	A
2.2.10	A	A	5.2.3	B	A	7.5.7	A	A
2.2.11	A	A	5.2.4	A	A	7.6.1	A	A
2.3.1	A	A	5.2.5	A	A	7.6.2	A	A
2.3.2	B	B	6.1.1	A	A	7.6.3	A	A

※MSゴシック・全角で A B C 非該当、のいずれかを入力。本シートの改ページは禁止。

評価機関所見

◆優れた取り組みと思われる点	
スケルNo.	所 見
2-1-2	事業計画書には、入居者募集センター、運営管理課、生活サービス課、食事サービス課、居室サービス課、ケアサービス課、診療所など各担当部署別の年間事業計画が詳細に策定されている。また、毎月の推進状況も確認する仕組みが整っている。計画策定にあたっては各部署別に課題を抽出するグループワークを行い、年度末に事業計画会議を開催して実態を把握したうえで策定につなげている。各部署別の年間計画には、それぞれ担当職員の個人目標も明記され、組織一丸となって達成できるようにしている。大規模施設を円滑に運営する仕組みが整っていることがうかがえる。
2-3-4	施設ではサービス向上を目指して、食事や介護などの個別サービスに加え、サービス全般に関わる満足度アンケートを定期的実施しており、意向や要望の把握に努めている。懇談会の場においてアンケート結果を報告し、フィードバックするとともに、対応を必要とする事項が見受けられた際には迅速に対処することになっている。また、アンケート調査以外でも年8回の運営懇談会（委員会対象）や入居者全大会などの機会を通じて、事業報告や意見、要望を把握し、ニーズに沿った運営に努めるとともに事業の透明性を担保することに取り組んでいる。尚、議事録も配付しており、欠席者への情報提供にも取り組んでいる
6-2-1	入居者の状況やその課題に応じた適切なアセスメントを行い、定期的なモニタリング・評価の実施に努めている。ケアマネジメントの過程においても、現在起きている課題や困りごとへの対処に追われることなく、課題の根本的な解決を目指しており、多職種の視点も取り入れ個別の自立支援にむけたケアプランの作成を目指している。必要な支援が効果的に提供されるための体制も確保されており、担当者がサービス内容を見直し、ケアプランに反映させるにあたりフォローアップする体制づくりもされている。 特定施設サービス計画書（看取り介護計画書）においても、医療と連携しながら本人と家族の希望を踏まえ、楽しみにしていることや好きなことは無理なく続けられるように、居室で過ごすだけでなく出来る限りサロン（共有スペース）までは行けるようになど、自立支援に資するケアプランづくりが実施されている。
6-2-5	ケアプランの定期的なモニタリングと評価を実施しており、目標や課題分析、サービス内容について振り返り、変更の必要性について検討している。モニタリングやニーズに応じたカンファレンスにおいて、内容に変更があった際にはケアプランを変更・修正する流れとなっており、本人及び家族へ説明の上同意を得ている。ケアプランの変更については、ケアプラン変更管理連絡表・ケアプラン決済管理表にて一覧でわかりやすく管理され、全体を把握しやすい仕組み作りがされている。
7-5-4	一人で外出することが困難な入居者にむけては、ケアプランでの目標設定を行い外出支援につなげており、施設からリフト車を往復させての買い物ツアーや、家族や職員と外食に出掛ける機会などを設け、気分転換が図れるように支援している。あまり外出を希望しない入居者に対しては、敷地内の売店への同行やサロン（共有スペース）でDVDを鑑賞、カラオケクラブへの参加など、敷地内の行きたい場所や時間を決めて個別に対応できるようにしており、広い敷地を持つ施設の特性を活かし、楽しみを持ち続けて生活できるように取り組んでいる。

◆さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点	
スケルNo.	所 見
1-1-1	法人ホームページには、経営姿勢、自主行動基準、事業計画等すべての情報が公開されており、事業の透明性に配慮していることがうかがえる。ただし、油壺エデンの園のウェブ画面上からのリンクの階層が分かりにくく、法人のサイトからの検索が必要とされている。ホームページを閲覧する入居者や入居希望者のためにも分かりやすいリンクの工夫が望まれる。
1-5-3	高齢者虐待防止や身体拘束などについては、身体拘束廃止委員会が中心となってマニュアルの設定や研修などを実施し職員への周知を図っている。館内に虐待防止のポスター掲示をして啓発にも力を入れている。また、苦情処理体制についても整備されており、掲示を含めて入居者にも分かりやすく示している。現在、虐待や虐待に類似する事例、身体拘束、苦情などの報告も無く適切な運営がなされていることがうかがえる。さらにリスクマネジメントに関する委員会の個別設置、整理、統合などを検討することが望まれる。